

JMSアステールプラザ大広間

14時開演 (13時30分開場)

第1回 3月3日(日)

「清水次郎長伝」

第2回 4月21日(日)

「天保水滸伝」

第3回 5月26日(日)

「赤穂義士伝」

玉川奈々福連続公演

# 浪曲徹底攻略

シリーズ全3回

解説+実演!

浪曲の超有名演目を奈々福さんがその成り立ちから物語の背景までガッツリ解説+浪曲の実演2席を披露する一粒で二度美味しい企画。物語の背景を知ると、その古典演目をより理解できるだけではなく、歌舞伎や映画、講談、落語など、同じ物語を題材にした他のジャンルの作品まで楽しめてしまう実にお得な公演です。浪曲初めての方にとっては最高の入門編、そして、浪曲ファンの皆さまにとっても、より深く演目を味わっていただける懐の深い試みです。

第1回(3月)は「清水次郎長伝」、第2回(4月)は「天保水滸伝」、第3回(5月)は「赤穂義士伝」。もちろん気になる演目だけの単発参加でも十分お楽しみいただけますが、3回通しで聞いていただくと、日本の古典の物語の水脈が少しずつ見えてきて、新たな世界の扉が開くことでしょう。お待ちしております!

## 玉川奈々福さんより一言

「清水次郎長」「天保水滸伝」「赤穂義士伝」……語り芸の古典演目は、映画や小説やお芝居にもなり、たぶん50年くらい前までは「みんなが知っている物語」だったと思います。

いまや、すっかり知られなくなってしまった物語。「森の石松」も「……誰?」になっちゃいました。そこで、とりあえず有名どころだけでもわかっただけになつていただきたら、三回に分けて、ザ・浪曲の有名演目を実演+解説で申し上げようと思います。

そこに流れる、日本人が大事に思い、また好んできた「価値観」のことに触れることになると思います。聞けば古典の沿革がわかる!



第1回 日 時：3月3日(日) 第2回 日 時：4月21日(日) 第3回 日 時：5月26日(日) いずれも14時開演 (13時半開場)

会場：JMSアステールプラザ大広間 (広島市中区加古町4-17)

出演：玉川奈々福(浪曲師)、広沢美舟(曲師/3月と5月)、沢村まみ(曲師/4月)

このほか第1回(3月)のみ玉川奈みほ(浪曲師)も出演(1席)

木戸銭：全3回通し券10,000円、予約3,500円(当日3800円)

※全席自由席。和室ですが、一部、椅子席あり。足などが悪く椅子席を希望の方はご予約の際にその旨をお知らせください。

※通し券は来られない回があっても払い戻しはいたしません。

ご予約はこちらから



撮影・御堂義乗

主催：広島で生の落語を聴く会 | 問い合わせ：広島で生の落語を聴く会 (Tel:090-9570-4579 Mail:namarakugo@gmail.com)



たまがわ ななふく  
浪曲師 玉川 奈々福

神奈川県横浜市出身。1995年二代目玉川福太郎に曲師(浪曲三味線)として入門。2001年より浪曲師としても活動。2006年奈々福で名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作や長編浪曲も手掛け、他ジャンルとの交流も多岐にわたって行う。(一社)日本浪曲協会理事。平成30年度文化庁文化交流使として、中欧、中央アジア七か国で公演を行った。第11回伊丹十三賞受賞。著書に『浪花節で生きてみる!』他がある。



ひろさわ みふね  
曲師 広沢 美舟 (3月・5月公演)

千葉県佐倉市出身。義太夫から三味線に興味を持ち、偶然入った木馬亭で、沢村豊子の音締の虜となる。木馬亭に通う内に浪花節のおもしろさに魅せられ、2015年、日本浪曲協会主催の三味線教室に通い、翌6月に沢村豊子に入門。沢村美舟で、翌2016年4月、浅草・木馬亭で初舞台。2022年、広沢美舟に改名。



ひろさわ なみは  
浪曲師 玉川 奈みほ (3月公演・1席)

福島県郡山市出身。玉川奈々福の浪曲を聴いて、その面白さとパワーに魅了され、浪曲の持つ力、師匠の浪曲の向かうところを追いかけて、2019年3月入門。翌2020年2月、初舞台。浪曲の楽しさ・面白さをお届けできる浪曲師になれるよう、精進して参ります!

さわむら まみ  
曲師 沢村 まみ (4月公演)

神奈川県出身。歌舞伎や落語、講談など様々な芸に触れるなかで浪曲に出会い、「浪曲は人間の叫びだ」と感じ衝撃を受ける。曲師・沢村豊子の音色に惚れ、曲師を志すことを決意、2019年沢村豊子に入門。翌年、初舞台。浪曲師が語る“浪曲世界”の景色、風、匂いを感じさせる音色を奏でられる曲師を目指し、修行中。



撮影・御堂義乗

物語紹介

第1回 3月3日(日) 「清水次郎長伝」

幕末から明治にかけて、静岡県清水を拠点に活躍した、山本長五郎、通称清水次郎長という親分とその子分たちをとりまく物語。その成立の経緯から、広沢虎造で有名になるまでの過程、物語の特徴などについて解説します。

第2回 4月21日(日) 「天保水滸伝」

江戸後期、下総に実在した飯岡助五郎、笹川繁蔵、二人の博徒一家の抗争の物語。剣客平手造酒、そしてかの座頭市とも所縁のある、俠気ある男たちの群像劇。講釈師が現地取材して作った講釈が浪曲化されました。

第3回 5月26日(日) 「赤穂義士伝」

元禄十四年三月十四日、千代田城松の廊下で浅野内匠頭が吉良上野介に斬りつけたことに端を発した「赤穂事件」。いったいこれはどういう事件であったのか。そしてこれが広く日本人に愛されたわけは。

主催：広島で生の落語を聴く会



「広島で生の落語を聴く会」ホームページ  
<http://sat3.jp/namarakugo/>



SNSで公演予定や演芸の話題を配信中!



ご予約・お問い合わせ

全3回通し券 10,000円

予約 3,500円 当日 3,800円

※全席自由席。和室ですが、一部、椅子席あり。足などが悪く椅子席を希望の方はご予約の際にその旨をお知らせください。  
※通し券は来られない回があっても払い戻しはいたしません。

ご予約は下記予約フォームよりお申し込みください。

そのほか、電話あるいはメールでも受け付けます。

MAIL: namarakugo@gmail.com

TEL: 090-9570-4579

《必要事項》

①氏名(ふりがな) ②電話番号 ③券種 ④席数



料金のお支払いは、当日受付にて現金でお願いいたします。

ご予約で満席の場合は当日券はありません。ご了承ください。

キャンセルされる場合は必ず事前にお電話かメールでご連絡ください。

\*学生は小〜大学生(25歳まで)が対象です。

\*高・大学生は受付で学生証をご提示ください。

\*未就学児の入場はご遠慮願います。

●● 広島・次回公演 ●●



3月10日(日)  
三遊亭ごはんつぶ  
落語ライブ in 広島 vol.1

15時開演(14時半開場)  
コジマホールディングス西区民  
文化センター大広間(広島市西区)



▲ご予約はこちら



6月9日(日)  
神田松鯉&三遊亭遊雀  
二人会

14時開演(13時半開場)  
広島工業大学広島校舎  
5階ホール(広島市中区中島町5-7)



8月21日(水)  
落語教育委員会、  
再び!

18時半開演(18時開場)  
広島工業大学広島校舎  
5階ホール(広島市中区中島町5-7)

3/1(金)より  
ご予約受付  
開始!

5/1(水)より  
ご予約受付  
開始!